

上野樹里、「江」を巡る旅。／日本橋「江戸」散歩。
京都/金沢/益子/岐阜・犬山/仙台 etc. 日本探しの旅。

TOKYO MAGAZINE
第2・第4木曜日発売

Hanako

Ken Ono magazineworld.jp/hanako/

N°987

2011|1.27

[ハナコ] 定価550円

完全保存版



supported by
TOYOTA bB

Drive Special

with  **FOR MEN**

日本案内。

懐かしくて新しい。素敵な日本をめぐると旅へ！

上野樹里さんと行く、
「江」をめぐる旅。
長浜・安土・京都

長浜、彦根、比叡山～坂本。
琵琶湖「歴史」ドライブ。

物語と文化でめぐる
日本を探る旅。

- 犬山・岐阜×城
- 仙台・松島×史跡
- 益子×うつわ
- 金沢×和菓子
- 京都×お茶
- 魚沼×水
- 庄内×鍋
- 越前×蟹
- 銚子×電車
- 五島列島×暮らし

「江」の時代、戦国絵巻

日本探しの旅・江戸編
松島 花さんと歩く、日本橋散歩。

Hanako
Entertainment Therapy
ソ・ジ・ソブ × ユン・ゲサン
チョン・ジョンミョン
ユン・シユン etc.

リレー連載 vol.58 嵐
相葉雅紀

2011年12月27日発行 毎月第2・第4木曜日発行 1980円(税込) 送料別 広告掲載料別途 印刷代別 編集長 三浦浩一

岐阜城下町

かつての豪商が集まった川港・川原町をのんびりお散歩。
その豪華な造りを見学できる町家カフェやパティスリーも必見。



水運で栄えた城下町は、今も現役で活躍中。
1300年続く長良川の鵜飼など、時代によりわけ賑わっていた町。昔から伝統文化の中心地だった岐阜。かつては「井の口」と呼ばれていたこの地を織田信長が「岐阜」と命名するなど、戦国武将との縁は切つても切れないもの。信長の「楽市楽座」町、玉井町、元浜町のこと。ここは昔、長良川の水運を利用した川港で、時代により、とりわけ賑わっていた町。川原町といえば、長良橋南詰の鵜飼観覧船のりばから西へ続く現在の湊したカフェやパティスリーも充実。文化財を大切にしながら発展する町の姿は、懐かしく、美しい。



ACCESS JR・名鉄岐阜駅からバスで岐阜公園歴史博物館前下車。またはタクシーで約15分。岐阜城まで金華山ロープウェイ下車後、徒歩で約8分。車/岐阜各務原ICから約30分。

さかだえいきちぼんてん

2 坂井田永吉本店

現在4〜5軒しか残っていない岐阜和傘の老舗。柄が細やかで、持ち手が細く繊細な岐阜の和傘の中でもここには女性向けのデザインが豊富。●岐阜市加納中広江町27 ☎058-271-6958 ⑩10:00〜18:00 日祝休 工房のため小売りは在庫品が注文が原則。和傘1本1万3000円〜。

4 カフェ&ギャラリー 川原町屋

行燈の老舗が、その豪華な町家をカフェとして開放。和雑貨も販売する饗の寢床のような店内には、お座敷や中庭、蔵を開放した趣深いカフェスペースが100席も。●岐阜市玉井町28 ☎058-266-5144 ⑨9:00〜18:30 無休 ケーキ付きコーヒーセット1000円〜。

すみいとしろしょうてん

6 住井富次郎商店

現在4代目のご主人が切り盛りする岐阜団扇の老舗。ここでは骨組み作りから、和紙の張り付け、色づけまで1人の作業。自らが型紙を彫った鵜飼柄の団扇は風情たっぷり。●岐阜市湊町46 ☎058-264-4318 ⑨9:00〜18:00 日休(鵜飼のシーズンは7:00〜21:30 無休)

こうらくそう

1 後楽荘

岐阜十人衆ともいわれた豪商「伊勢嘉商店」の当主・矢野嘉右衛門が残した邸宅と庭園を使った老舗。ここでは600坪の庭園を眺めつつ岐阜の味を楽しめる。●岐阜市本町1-31 ☎058-264-0027 ⑨11:30〜13:00入店、17:00〜20:00入店 月休 要予約 昼3000円〜、夜8000円〜。

トレドゥエ セイデビュウ

3 326 di piu

築130年の米蔵をリノベしたパティスリー。生ケーキはもちろん、斎藤道三の時代に木材が輸送されたこの地にちなんだ焼き菓子(山の恵み)は、栃の実など岐阜の味を詰め込んだ秀作。●岐阜市玉井町12-1 ☎058-263-326 ⑩10:00〜19:00 火休 山の恵み1本800円。

5 秋木屋本店

養蜂のメッカ・岐阜屈指の老舗。ここでは国産にこだわった蜂蜜に加え、新しくコスメを開発。特に今期登場した蜂蜜60%配合の蜜パックは、3分のパックで肌水分量が1.4倍まで潤う逸品。●岐阜市加納富士町1-1 ☎058-272-1221 ⑨8:30〜17:30 土日祝休 蜜パック3990円。

信長と山狼が融合(?)した岐阜の強気なゆるキャラ・のぶさま。その活動は下記に。nobusama.blog88.fc2.com/





町・
老舗
の漬
こは
て、
まつ

ていたとか。今も格子戸のある古い町家が連なるこのエリアでは、伝統工芸品はもちろん、町家や蔵を活かしたカフェやパティスリーも充実。文化財を大切にしながら発展する町の姿は、懐かしく、美しい。

さかいだえいきちはんてん

2 坂井田永吉本店

現在4〜5軒しが残っていない岐阜和傘の老舗。柄が細やかで、持ち手が細く繊細な岐阜の和傘の中でもここには女性向けのデザインが豊富。●岐阜市加納中広江町27 ☎058・271・6958 ☎10:00〜18:00 日祝休 工房のため小売りは在庫品が注文が原則。和傘1本1万300円〜。

こうらくそう

1 後楽荘

岐阜十人衆ともいわれた豪商『伊勢嘉商店』の当主・矢野嘉右衛門が残した邸宅と庭園を使った老舗。ここでは600坪の庭園を眺めつつ岐阜の味を楽しめる。●岐阜市本町1-31 ☎058・264・0027 ☎11:30〜13:00入店、17:00〜20:00入店 月休 要予約 昼3000円〜、夜8000円〜。

トレドゥ セイ ディビュウ

3 326 di piu

築130年の米蔵をリノベしたパティスリー。生ケーキはもちろん、齋藤道三の時代に木材が輸送されたこの地にちなんだ焼き菓子(山の恵み)は、栃の実など岐阜の味を詰め込んだ秀作。●岐阜市玉井町12-1 ☎058・263・3326 ☎10:00〜19:00 火休 山の恵み1本800円。

信長と山狼が融合(?)した岐阜の強気なゆるキャラ・のぶさま。その活動は下記に。nobu sama.blog88.fc2.com/



すみいともじろうしょうてん

6 住井高次郎商店

現在4代目のご主人が切り盛りする岐阜團扇の老舗。ここでは骨組み作りから、和紙の張り付け、色づけまで1人の作業。自らが型紙を彫った鶴飼柄の團扇は風情たっぷり。●岐阜市湊町46 ☎058・264・4318 ☎9:00〜18:00 日休(鶴飼のシーズンは7:00〜21:30 無休)

5 秋田屋本店

養蜂のメッカ・岐阜屈指の老舗。ここでは国産にこだわった蜂蜜に加え、新しくコスメを開発。特に今期登場した蜂蜜60%配合の蜜バックは、3分のバックで肌水分量が1.4倍まで潤う逸品。●岐阜市加納富士町1-1 ☎058・272・1221 ☎8:30〜17:30 土日祝休 蜜バック3990円。